
JAGES2025調査の実施概要

横山 芽衣子

日本老年学的評価研究機構 研究員
千葉大学予防医学センター特任研究員

1. 調査実施体制
2. 調査スケジュールについて
3. 調査の見積もりについて
4. 調査にあたりご検討いただきたいこと
5. 調査票、成果物について
6. ご提供頂きたいデータについて
7. 契約・協定について

事務局体制（主な担当者）

責任者	宮國康弘
統括	横山芽衣子 高瀬遼
自治体担当	前田梨沙 田中あき子 塩岡沙織 坂本香奈 守屋恭子 石田香帆 飯酒盃美穂
システム部門	高瀬遼 藤田欽也 松尾美咲 森恵美
研修会、追加分析など	藤並祐馬 曾根和枝

調査に関するお問い合わせ先：jages-survey@jages.net

JAGES調査スケジュール

○ JAGES調査は3年1サイクルで実施されている。

【調査準備年】 2024年度（令和6年度）		保険者をお願いしたいこと
5～6月	調査説明会 & 保険者共同研究会	ご参加をお願いします。
6～12月	予算要求のための見積作成、調査票作成	見積もりフォーマットへのご入力
1～3月	研究協定、研究契約準備	参加・辞退のご連絡 協定と契約締結のご対応、広報への掲載 、個人情報審議会など
【調査実施年】 2025年度（令和7年度）		
4～6月	倫理審査、ソフト開発・改修	
8月	調査会社決定、調査準備、保険者と協定・ 契約締結	調査票独自項目の確定 対象者名簿作成（ツールあり）など
10～1月	健康とくらしの調査3期 在宅ケアとくらしの調査2期 に分かれて実施	郵便後納料金手続き、郵送のための宛名 シールの印刷、提供データのご準備など
3月	年度報告書	
【調査報告年】 2026年度（令和8年度）		
6～7月	保険者共同研究会（調査報告会）、地域マ ネジメント支援システム公開	保険者共同研究会のご参加をお願いします。
8～3月	その他成果物納品、オプション（各保険者 研修会、追加分析など）	

地域マネジメント支援システム

調査回答データを用いて様々な指標を作成し見える化したシステム。
このシステムで他市町村と比較したり、小地域で比較できるシステムで地域診断が可能。

JAGES2022 市町村間比較(自立者のみ) 地域診断書 | 要介護リスク (2022年度)

指標定義 散布図 印刷プレビュー

フィルター ▼ マップ | テーブル

指標の選択

人口グループを選ぶ
全体 ▼

カテゴリーを選ぶ
要介護リスク ▼

指標を選ぶ
運動機能低下者割合(基本3) ▼

調査年度
2022年度 ▼

凡例

運動機能低下者割合(基本チェックリスト)

地区名	値	対象者数	ランキング
生駒市	5.3	2,149	1
柏市	5.9	4,732	2
町田市	6.0	3,886	3
大府市	6.1	2,931	4
さいたま市	6.1	5,573	5
横浜市	6.2	13,613	6
市川市	6.2	5,060	7
知多市	6.6	3,177	8

地区選択解除 ✕ フィルター解除 ✕

比較対象 ▼ 値

● 市町村平均 9.5

地域診断書

項目名	値	ランキング	パフォーマンス棒グラフ
要介護リスク			
要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	15.1	27	13.2 18.5
フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	16.8	31	12.0 23.1
運動機能低下者割合(基本チェックリスト)	11.0	59	5.3 14.8
1年間の転倒あり割合	28.8	49	23.1 38.8
認知症リスク得点(認知症リスク得点による算出)	3.4	4	3.3 4.3
認知症リスク者(7点以上)割合	9.5	14	7.6 18.9
物忘れが多い者の割合	42.1	56	33.6 51.4
口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)	17.7	4	16.5 27.2
残歯数19本以下の者の割合	39.0	25	30.3 71.1
うつ割合(GDS5点以上)	23.7	21	17.9 34.6
笑う者の割合	92.8	26	89.6 95.1
うつ割合(ニース調査)	13.6	25	11.5 18.6
うつ割合(基本チェックリスト)	25.3	18	19.9 35.3

記述統計

地区数(データ数): 75.0
 平均値: 9.5 中央値: 9.7
 最小値: 5.3 最大値: 14.8

範囲: 9.5
 下四分位: 7.8
 上四分位: 10.8
 四分位範囲: 3.0
 分散: 4.6
 標準偏差: 2.1

市町村間比較/地域差

経年比較/時系列変化

選択地区

■ 多可町

地域診断書 凡例

■ 市町村平均
 ■ 下位 (0~25%)
 ■ 四分位範囲/IQR (EFLJ 50%)
 ■ 上位 (75~100%)

調査にあたりご検討いただきたいこと①

調査を実施するために各保険者（市町村）にて各項目をご検討ください。

ご検討いただいた内容に沿って見積書を提出いたします。

見積書のご依頼は下記の見積もりフォームまたはエクセルファイルをご利用ください。

見積もりフォームについて

GoogleフォームのURL

1. チャットに掲載
2. JAGESのホームページ内に掲載

<https://www.jages.net/jichitai/survey/estimation/>

エクセルファイル

Googleフォームが利用できない場合は、エクセルファイルをお送りしますので、下記メールアドレスまでご連絡ください。

jages-survey@jages.net

調査にあたりご検討いただきたいこと②

健康とくらしの調査

調査対象者

一般高齢者	10保険者
一般高齢者+総合事業対象者	9保険者
一般高齢者+総合事業対象者+要支援者	51保険者

22年調査での保険者数

契約年度

1年契約	61保険者
2年契約	10保険者

- 2025年度と2026年度に提出する成果物があります。
- 2年契約の場合、1年契約を2回締結するのではなく、2年契約1本となります。1年目、2年目に作業する内容や成果物の範囲を分けての契約となり、年度毎に支払いが必要となります。

調査方法

全数調査	21保険者
サンプリング調査	53保険者

- サンプリング調査の場合、1地域あたり150名以上配布を推奨しています。
- 総合事業対象者、要支援者を含める場合、1地域あたり160名以上の配布を推奨しています。
- 地域診断を年齢層別で検討したい場合は、1地域あたり2倍以上の配布数を推奨しています。

調査にあたりご検討いただきたいこと②

健康とくらしの調査

分析地域

日常生活圏域
 小学校区
 中学校区
 その他

22年調査での保険者数

42保険者
 16保険者
 4保険者
 13保険者

報告書

- 報告書はPDFと冊子にて納品します。
- 冊子は3冊納品が基本です。
- 4冊以上をご希望の場合は追加費用が発生いたします。

オプション項目

- 概要版
 - 地域マネジメント支援システムを活用して市町村ごとの強みや課題、その対策や重点支援地域などの手がかりをまとめた資料。
 - PDFと冊子で納品します。
 - 冊子の作成部数をお選びください。20部以上は追加費用が発生します。

調査にあたりご検討いただきたいこと②

健康とくらしの調査

オプション項目

- 地域診断詳細版
 - 地域マネジメント支援システムに掲載されている全ての指標結果リストを一覧にして提供いたします。
 - PDFで納品いたします。

- 追加調査について
 - 在宅ケアとくらしの調査→選択した場合、在宅ケアとくらしの調査に関するフォーマットにもご記入をお願いいたします。
 - ボランティア調査→当説明会後のアンケートにてご意見をお聞かせください。
 1. 健康とくらしの調査に追加で調査票を封入する方法。A4用紙1枚分の説明と氏名記載欄の調査票（追加費用あり）。
 2. 自治体独自項目にて同様の質問を追加する方法（追加費用なし）。
 - どちらがよろしいでしょうか？ご意見をお聞かせください。

- 追加分析、研修会について
 - 日本老年学的評価研究機構の藤並より、別途説明いたします。

ボランティア調査_追加費用なし

問2】生活支援および支え合いについておうかがいします。←

1) あなたは地域の集いの場の世話役やボランティアなどを引き受けても良いと思いますか。←

1. はい 2. いいえ → 問3へ←

1) で「はい」と答えた方におうかがいします。←

1) - 1) 下記の下記のボランティアのうち手伝っても良いと思うものにすべて○をつけてください。←

- | | | |
|-----------------|--------------|-------------|
| 1. 介護予防推進員 | 2. 食生活改善推進員 | 3. 配食サービス ← |
| 4. ゴミ出し等の簡単な手伝い | 5. 草刈など庭の手入れ | 6. その他← |

1) - 2) 役場よりボランティアお手伝いのお願いの連絡を直接差し上げてもいいですか。←

1. はい (連絡しても良い) 2. いいえ (連絡してほしくない) ←

調査にあたりご検討いただきたいこと②

在宅ケアとくらしの調査

調査対象者

- 在宅ケアとくらしの調査では原則として要介護1から5の方を対象としています。

契約年度

- 在宅ケアとくらしの調査では契約年度の記載をする箇所がありません。
- 健康とくらしの調査で選択した契約年度が反映されます。

調査方法

全数調査

サンプリング調査

*サンプリング調査の場合、対象者の人数が確保できれば、介護区分毎に200人配布を推奨。介護区分が5つあるので、1000人配布を推奨。対象者の人数が確保できない場合は、200人／区分に近い人数で設定することを推奨。

22年調査での保険者数

4保険者

9保険者

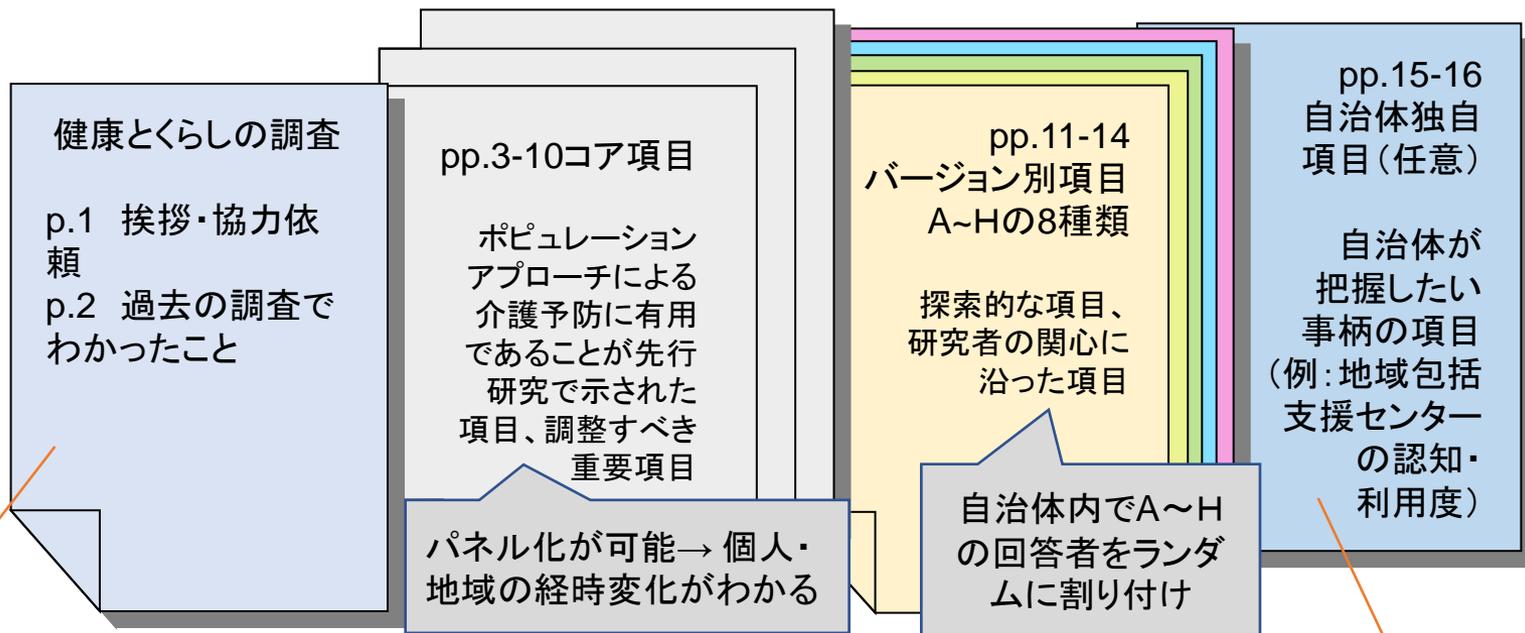
報告書

- 報告書はPDFと冊子にて納品します。
- 冊子は3冊納品が基本です。
- 4冊以上をご希望の場合は追加費用が発生いたします。

調査票（健康とくらしの調査）

調査名【健康とくらしの調査】⇒ 調査票に特徴があります。
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の拡張版

（A3用紙2つ折り 16ページの冊子）



基本文案を準備しますので、市町村に合わせた目的や連絡先などのご記入をお願いします。

- 質問したいことをご自由に設定してください。
- 質問文案を準備しています。
- ただし、自由記載欄（「ご自由にお書きください」など）はご遠慮いただいております。

調査票例（健康とくらしの調査2022年）

コア8ページ、バージョン4ページにて構成。
バージョンには、サブコアと呼ばれる2種類の項目のいずれかが含まれる。
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の項目を全て含む。

コア バージョン(サブコア①、②は下表参照)

身体状況 健康状態	生活習慣 罹患 保健行動 BMI 転倒状況	A	サブコア①、地域資源、周囲の支援、認知症、救急車利用・AI・コロナ、文字読み行動について	
心理	うつ 幸福度	B	サブコア②、看取り、かかりつけ医、医療受診、服薬について	
社会	ソーシャル・ネットワーク ソーシャル・サポート	C	サブコア①、災害、コロナ流行後の生活、通いの場について	
社会経済的地位	年間世帯所得 世帯人数 教育 就職（最長職） 年金 生活保護	D	サブコア①、口腔ケア、食欲、タバコについて	
会・グループ への参加	ボランティア スポーツ 老人 クラブ 町内会・自治会 他	E	サブコア②、地域と住宅、日常生活、暴力、ジェンダー規範、食事内容について	
地域環境	(地域に対する)信頼 互酬性 治安 祭り 近所付き合い	F	サブコア②、住宅環境、生活範囲、転居、シルバーパスについて	
外出	外出頻度 交通手段	G	サブコア②、運動の実施状況、スポーツ観戦、楽観性、笑いについて	
		H	サブコア①、身体の痛み、健康状態、身長縮み、日常生活活動について	
		サブコア①	身体状況 健康状態	新型コロナウイルス感染症、目や耳の状態
			介護	頻度・時間
			心理	human flourishing
		サブコア②	経済	15歳時の社会経済的地位
			会・グループへの参加	趣味・おけいこ事
			外出	買い物の頻度・手段
			社会	1年間に起こったこと、インターネットの使用、連絡手段と機会
			地域	地域の環境、信頼、人付き合い

成果物（健康とくらしの調査） 報告書

追加費用無し

2025年3月から5月にかけて納品。
PDFと冊子にて納品。
報告書の内容は下記のとおり。

1. はじめに
2. 本報告書を読む際の注意
3. 調査実施の概要
4. 集計数・集計項目・回答の修正方法について
5. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワーク（右図）
6. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワークの小地域間比較
7. 保険者独自項目の調査結果
8. （資料）基礎集計表

5. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワーク

（1）要介護リスク：フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

と第1期参加自治体を比較してみると『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「70-74歳」でやや低く、「65-69歳」で低く、「85歳以上」でとても低くなっている。

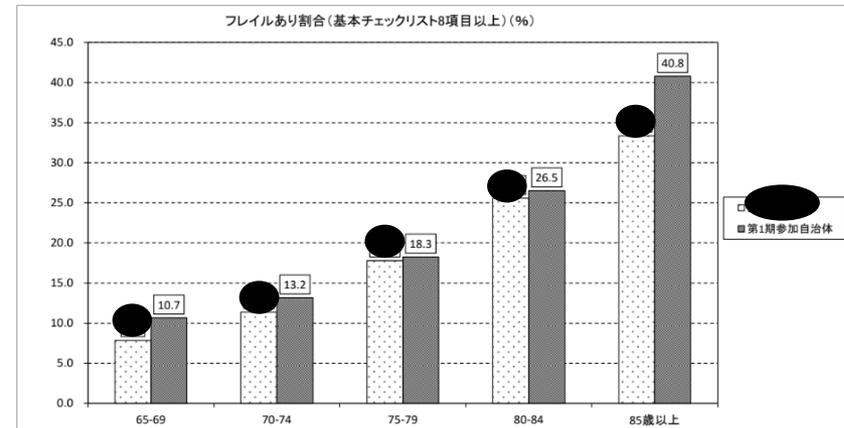


図1 フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

介護予防ニーズ：フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
第1期参加自治体	人数	9,910	1,265	1,933	1,964	2,238	2,510
	%	19.1	10.7	13.2	18.3	26.5	40.8
	サンプル数	51,848	11,844	14,667	10,749	8,435	6,153

表1 フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

JAGES2022 市町村間比較(自立者のみ) 地域診断書 | 要介護リスク (2022年度)

指標定義 散布図 印刷/レビュー

フィルター | マップ | テーブル

指標の選択

人口グループを選ぶ
全体

カテゴリーを選ぶ
要介護リスク

指標を選ぶ
要支援・要介護リスク点数の平

調査年度
2022年度

凡例

要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)

© OpenStreetMap

地域診断書

項目名	値	ランキング	パフォーマンス棒グラフ
要介護リスク			
要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)			
フレイルあり割合(基本チェックリスト 8 項目以上)			
運動機能低下者割合(基本チェックリスト)			
1 年前の転倒あり割合			
認知症リスク得点(認知症リスク得点による算出)			
認知症リスク者(7点以上)割合			
物忘れが多い者の割合			
口腔機能低下者割合(基本チェックリスト)			
残歯数19本以下の者の割合			
うつ割合(GDS55点以上)			
笑う者の割合			
うつ割合(ニーズ調査)			
うつ割合(基本チェックリスト)			
フレイルなし割合			
フレイルあり割合			
生活機能低下者割合(基本チェックリスト)			
BMIが18.5未満の者の割合			
肥満(BMI25以上)者の割合			
低栄養者割合(基本チェックリスト)			
認知機能低下者割合(基本チェックリスト)			
過去1年間に1日以上続く腰痛があった者の割合			
過去1年間に1日以上続く膝痛があった者の割合			
若いころと比べて身長が4cm以上縮んだ者の割合			
耳がよく聞こえる者の割合			
目がみえる者の割合			
<ul style="list-style-type: none"> ▶ IADL ▶ 生きがい ▶ 社会関係 ▶ スポーツ ▶ 満足度 			

記述統計

地区数(データ数): 75.0
 平均値: 15.5 中央値: 15.5
 最小値: 13.2 最大値: 18.5

範囲: 5.3
 下四分位: 15.0
 上四分位: 16.1
 四分位範囲: 1.1
 分散: 0.9
 標準偏差: 0.9

市町村間比較/地域差

経年比較/時系列変化

選択地区

地域診断書 凡例

- 市町村平均
- 下位 (0~25%)
- 四分位範囲/IQR (ミドル 50%)
- 上位 (75~100%)

ニーズ調査 (健康とくらしの調査) 項目を軸に要介護リスク、社会参加、防災などを相互的に評価できる指標群。

成果物（健康とくらしの調査）

地域マネジメント支援システムの種類

■ 【A】 <市町村レベル> 地域診断書（年齢調整）

75市町村・自立者のみ比較。全市町村の年齢構成が同じになるように年齢調整（2015年基準人口を年齢を5歳刻みで調整）。基本チェックリスト・幸福感・ソーシャルキャピタル得点（3種類）の12指標。

■ 【B1~3】 <市町村レベル> 地域診断書（全年齢・前期・後期高齢者）

集計に用いたデータの対象者別にB1~B3を作成。

B1：75市町村・自立者のみ比較。調査票コア・サブコア・バージョン設問から作成した指標を含めた全184指標。

全保険者が掲載対象。継続参加保険者は経年比較有り。

B2：50市町村・自立者+総合事業対象者。報告書掲載の64指標。

調査対象者に、総合事業対象者を含む保険者（市町村）が掲載対象。

B3：54市町村・自立者+総合事業対象者+要支援者。調査対象者に、要支援者を含む保険者が掲載対象。総合事業対象者が識別不能な13市町村を含む。報告書掲載の64指標。

■ 【C】 <小地域レベル> 地域診断書（全年齢・前期・後期高齢者）

全年齢高齢者・前期高齢者・後期高齢者別。75市町村

小地域・自立者のみ比較。バージョン設問からの指標を含めた全184指標。継続参加保険者は経年比較有り。

追加費用無し

成果物：重点対象地域選定シート（単年）

（健康とくらしの調査）

		健康指標（コア12指標）ランクの平均											
		幸福感がある者の割合	要支援・要介護リスク点数の平均点	フレイルあり割合	運動機能低下者割合	1年間の転倒あり割合	認知症リスク者得点	認知症リスク者割合	物忘れが多い者の割合	口腔機能低下者割合	残歯数19本以下の者の割合	うつ割合（GDS5点以上）	閉じこもり者割合
		高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体	高齢者全体
Name		2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2022
10	A地区	3	1	1	2	1	1	2	1	5	2	3	3
04	B地区	1	5	2	2	2	5	4	2	1	1	3	3
01	C地区	2	1	4	1	1	1	1	1	3	1	1	3

指標名

小地域ごとの結果を5分位で色付けしたもの。

- 上位2割
- 上位から2~4割
- 中位4~6割
- 下位から2~4割
- 下位2割

小地域名

追加費用無し

成果物：重点対象地域選定シート（経年）

（経年参加自治体のみ）

Name	高齢者全体			高齢者全体			高齢者全体			
	2019	2022	変化	2019	2022	変化	2019	2022	変化	
	0	A地区	3	3	→	1	1	→	2	1
4	B地区	2	1	↗	5	5	→	3	2	↗
1	C地区	4	2	↑	1	1	→	1	4	↓

指標名

2019年から2022年の間の
変化を矢印で表したもの

-  改善
-  やや改善
-  維持
-  やや悪化
-  悪化

小地域名

2019 2022

成果物：地域診断サマリー

(健康とくらしの調査)

A市

指標名	今回	順位	回答者数	平均値	最小値	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0	最大値
1.フレイルあり割合	11.3	11.0	141.0	10.6	1.0							25.0
2.生活機能低下者割合	27.5	8.0	142.0	29.9	14.1							75.0
3.運動機能低下者割合	34.0	2.0	141.0	39.7	25.0							50.0
4.低栄養者割合	7.1	16.0	140.0	4.4	0.0							9.1
5.口腔機能低下者割合	21.9	5.0	137.0	25.0	12.1							32.6
6.閉じこもり者割合	5.0	3.0	141.0	8.0	0.0							14.3
7.認知機能低下者割合	14.8	16.0	142.0	12.4	9.3							15.0
8.うつがある者の割合	12.1	16.0	140.0	8.7	3.0							25.0
9.幸福感がある者の割合	10.7	1.0	140.0	19.7	10.7							50.0
10.ソーシャルキャピタル得点・社会参加	19.9	15.0	141.0	15.0	0.0							26.2
11.ソーシャルキャピタル得点・連帯感	7.1	9.0	141.0	6.4	0.0							10.1
12.ソーシャルキャピタル得点・助け合い	87.7	10.0	138.0	87.2	75.2							100.0

- 地域マネジメント支援システムの内容が一目でわかるシート
- 地域ごとにメインの下記12指標について掲載
 - フレイルあり割合
 - 生活機能低下者割合
 - 運動機能低下者割合
 - 低栄養者割合
 - 口腔機能低下者割合
 - 閉じこもり者割合
 - 認知機能低下者割合
 - うつがある者の割合
 - 幸福感がある者の割合
 - ソーシャルキャピタル得点・社会参加
 - ソーシャルキャピタル得点・連帯感
 - ソーシャルキャピタル得点・助け合い

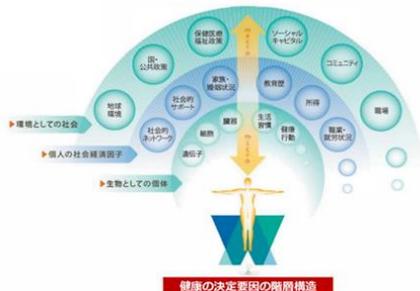
成果物：概要版（スライド再掲）

（健康とくらしの調査）

追加費用あり

健康とくらしの調査 19年 地域診断結果の概要

JAGES (Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究) は、健康長寿社会をめざした予防政策の科学的な基盤づくりを目的としています。2019年度には、全国の64市町村と共同し、約37万人の高齢者を対象にした調査を行い、全国の大学・国立研究所などの30人を超える研究者が、多面的な分析を進めています。本概要は、JAGESが実施した「健康とくらしの調査 2019」データを用い、介護予防や地域づくりに向けた地域診断の概要をまとめたものです。



地域診断結果説明書とは・・・

- ✓ 地域マネジメント支援システムからわかる強みと課題、対策や重点対象地域などの手掛かりをまとめた資料
- ✓ 全8ページで構成

内容

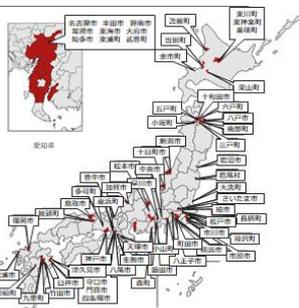
- ✓ p1 : 調査概要
- ✓ p2 : 強みと課題
- ✓ p3-4 : 特徴・強みや課題と関連する要因
- ✓ p5 : 市町村内比較から探る重点支援対象地域
- ✓ p6-7 : 市町村内比較から探る改善の手がかり
- ✓ p8 : まとめ

〇〇町_健康とくらしの調査概要

対象者	令和元年11月30日時点で65歳以上である高齢者
対象者数	5,000人
調査期間	令和2年1月6日～令和2年1月27日
回収数(率)	3600票(×%)
集計数(率)	3550票(△%) *年齢無回答や白票などを除いた
調査方法	サンプリング調査

全参加自治体_健康とくらしの調査概要

対象者	調査実施直前で65歳以上のもの
参加数	64市町村(56保険者)
対象者数	368,982人
配布回収	郵送法、一部訪問調査
調査期間	令和元年11月25日～令和2年2月10日
回収数(率)	254,396票(68.9%)
調査方法	全数調査またはサンプリング調査



広域連合・市・区当たり
約13万円を想定

成果物：地域診断詳細版（スライド再掲）

（健康とくらしの調査）



追加費用あり

A市

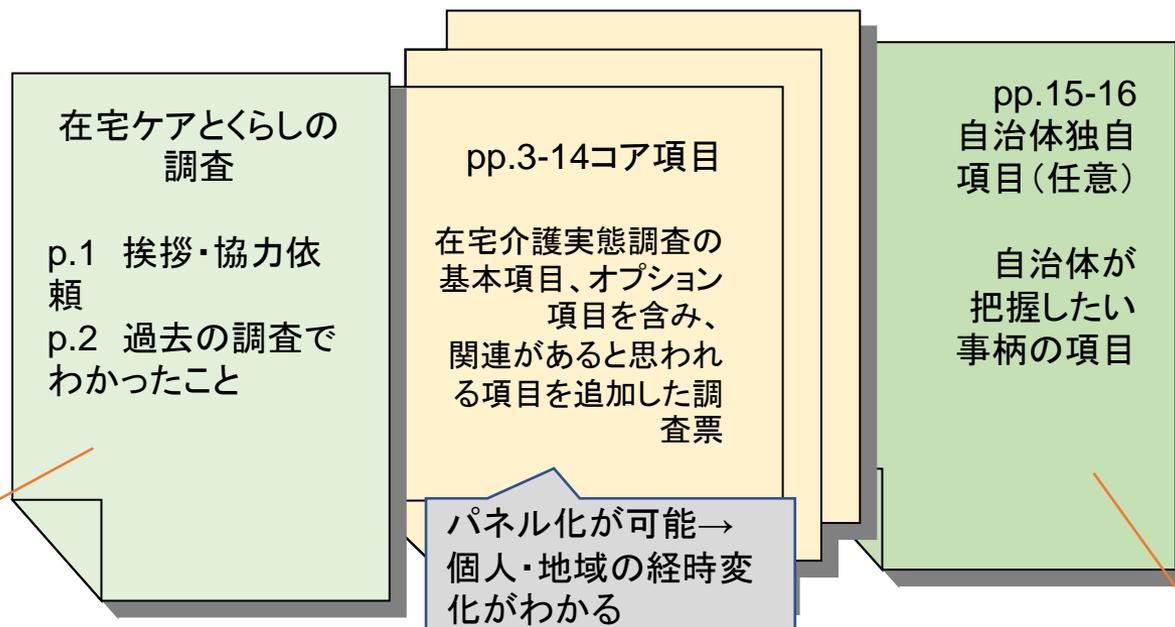
指標名	今回	順位	回答者数	平均値	最小値	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0	最大値	A地域	B地域	C地域	D地域	E地域
運動機能低下者割合	11.3	11.0	141.0	10.6	1.0							25.0	5	2	4	1	3
1年間の転倒あり割合	27.5	8.0	142.0	29.9	14.1							75.0	2	4	1	5	3
物忘れが多い者の割合	34.0	2.0	141.0	39.7	25.0							50.0	2	1	4	5	3
閉じこもり者割合	7.1	16.0	140.0	4.4	0.0							9.1	1	5	3	4	2
うつ割合（ニーズ調査）	21.9	5.0	137.0	25.0	12.1							32.6	3	5	2	1	4
残歯数19本以下の者の割合	5.0	3.0	141.0	8.0	0.0							14.3	1	3	4	2	5
要介護リスク者割合	14.8	16.0	142.0	12.4	9.3							15.0	3	4	2	1	5
BMIが18.5未満の者の割合	12.1	16.0	140.0	8.7	3.0							25.0	5	3	4	2	1
肥満（BMI25以上）者割合	10.7	1.0	140.0	19.7	10.7							50.0	3	2	4	1	5
独居者割合	19.9	15.0	141.0	15.0	0.0							26.2	4	3	1	5	2
IADL（自立度）低下者割合	7.1	9.0	141.0	6.4	0.0							10.1	5	3	1	2	4
主観的健康感が良い者の割合	87.7	10.0	138.0	87.2	75.2							100.0	4	3	2	5	1
幸福感がある者の割合	63.0	4.0	138.0	55.1	43.2							75.0	4	1	2	3	5
スポーツの会参加者（月1回以上）割合	41.0	1.0	122.0	28.2	0.0							41.0	3	1	4	2	5
趣味の会参加者（月1回以上）割合	33.3	8.0	126.0	31.9	0.0							43.3	4	1	3	5	2
ボランティア参加者（月1回以上）割合	12.5	8.0	112.0	11.5	0.0							17.6	5	3	4	2	1
学習・教養サークル参加者（月1回以上）割合	13.0	8.0	115.0	12.8	2.7							33.3	2	5	3	4	1
グループ活動へ参加意向がある者の割合	58.1	11.0	136.0	60.1	49.0							75.0	2	4	5	3	1
グループ活動（企画・運営）へ参加意向がある者の割合	32.1	8.0	137.0	33.5	20.6							75.0	3	1	5	4	2
情緒的サポート受領者割合	96.4	9.0	140.0	96.7	94.0							100.0	3	4	2	1	5
情緒的サポート提供者割合	93.4	17.0	137.0	96.4	93.4							100.0	5	1	4	3	2
手段的サポート受領者割合	93.6	12.0	141.0	95.2	89.2							100.0	2	3	4	1	5
手段的サポート提供者割合	90.4	10.0	136.0	92.1	86.8							100.0	5	1	2	3	4
喫煙するものの割合	5.8	5.0	137.0	9.5	4.0							25.0	1	2	4	5	3
経済的不安感がある者の割合	15.8	1.0	139.0	29.0	15.8							50.0	4	1	3	2	5

- 地域マネジメント支援システムの内容が一目でわかるシート
- 地域ごとに全指標について掲載
- 左部分は他市町村と比較した評価結果、右部分は小地域比較
- PDFで納品、約13万円を想定

調査票（在宅ケアとくらしの調査）

調査名【在宅ケアとくらしの調査】⇒ 調査票に特徴があります。
 在宅介護実態調査の拡張版

（A3用紙2つ折り 16ページの冊子）



基本文案を準備しますので、市町村に合わせた目的や連絡先などのご記入をお願いします。

- 質問したいことをご自由に設定してください。
- 質問文案を準備しています。
- ただし、自由記載欄（「ご自由にお書きください」など）はご遠慮いただいております。

成果物 (在宅ケアとくらしの調査) 報告書

2025年3月から5月にかけて納品。

PDFと冊子にて納品。

報告書の内容は下記のとおり。

1. 調査の概要
2. 単純集計
 1. 基本調査項目 (A票)
 2. 主な介護者様用の調査項目 (B票)
 3. 要介護認定データ
3. クロス集計
 1. 在宅限界点向上のための支援・サービスの提供体制の検討
 2. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制の検討
 3. 保険外の支援・サービス提供体制の検討
 4. 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービス提供体制の検討
 5. 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービス提供体制の検討
 6. サービス未利用の理由など
4. JAGESによる追加設問の集計結果

* 上記は2022年における報告書の目次例です。

ご提供頂きたいデータ一覧（案）

データの種類	ファイルレイアウト	優先度	依頼担当課
基本情報（認定者数など）	JAGES提供フォーマット	◎	介護担当
要介護認定データ*	NCI251等	◎	介護担当
介護保険料賦課データ*	JAGES提供フォーマット	◎	介護担当
介護給付実績データ*	111ファイル	◎	介護担当
介護予防事業参加者データ（通いの場参加者名簿）	JAGES提供フォーマット	△ （可能な場合）	介護担当 オプション （研究開発）
インセンティブ交付金の評価表	国に提出したフォーマット	◎	介護担当
KDB帳票⇒地域の全体像の把握 （帳票ID：P21_001） 健康スコアリング（健診、医療、介護）	CSVファイル	◎	介護担当から KDB担当に依頼
健康診査結果	JAGES提供フォーマット	△ （可能な場合）	

*：経年参加自治体のみ

契約・協定

契約と協定の締結をお願いしております。
協定は研究を進めるために必要となります。
契約と協定の基本的書面は準備しております。
相互で内容を精査の上、締結に向けて作業を進めさせてください。

< 契約 > 1年契約か2年契約かご選択ください。

- 基本的な作業は2年間になります。
 - ・ 1年目：調査の実施
 - ・ 2年目：調査結果の集計値とその報告書、地域マネジメント支援システムなどの成果物の提出

< 協定 >

- 3年協定の自動更新にてお願いいたします。